



第2章 実践編

1. 実践編の趣旨と内容構成

本指導資料は、小学校の表現運動系領域及び中学校、高等学校のダンス領域の学習指導について、新しい学習指導要領とその「解説」に示された内容をわかりやすく解説するとともに、授業計画（年間計画・単元計画など）の基本的な考え方と実践事例を挙げて、改訂の内容を確実に授業につなげていくことを願って作成されています。特に、今回の学習指導要領改訂の要点である中学校第1学年及び第2学年における「ダンス」領域の必修化と、指導内容の体系化・明確化に対応できるように、小学校から中学校、高等学校に至る12年間の発達の段階を見通した内容を取り上げ、小学校から中学校へのつながりと、その後の領域や三つのダンスを選択して取り組む授業への移行を踏まえた具体的な授業の進め方を提供するものです。

本指導資料は大きく理論編と実践編で構成されていますが、実践編では、理論編における基本的な考え方と進め方の内容を受け、「表現系ダンス」「リズム系ダンス」「フォークダンス」の「三つのダンス」について、小学校で九つ、中学校、高等学校で七つ、計16の実践例（単元）を挙げています。

それぞれの実践例（単元）で、どのような内容を取り上げ、どのように展開しているか、以下に小学校、中学校、高等学校の発達に対応した実践例（単元）の主な内容と特徴を示しました。

《小学校の実践例（単元）》

低学年の「表現リズム遊び」では、「どうぶつランドでへんしん！」と「ゆうえんちへいこう！」の二つの単元を紹介しています。単元の題材は、児童にとって身近で特徴のある動きを多く含む動物や乗り物を取り上げ、単元は「リズム遊び」と「表現遊び」を毎時間組み合わせて低学年の特性が生きるように工夫しています。

中学年では、「表現」の「お料理しましょ！」と「〇〇探検」の二つの単元、「リズムダンス」の「ロックやサンバのリズムに乗って！」と「リズムで交流！－ロックやサンバから好きなリズム（曲）を選んで－」の二つの単元を紹介しています。「表現」の題材は、具体的な生活からの題材と空想の世界からの題材をそれぞれ取り上げ、単元は多様で即興的な表現から簡単なひとまとまりの表現へと展開するようにしています。「リズムダンス」の単元では、ロックとサンバのリズムで即興的に踊って楽しむ段階から好きなリズム（曲）を選んで踊って交流する学習へと発展するように工夫しています。

高学年では、「表現」の「対決！」と「大変だ！〇〇」の二つの単元と、「フォークダンス」の「簡単なフォークダンスを踊って交流しよう」の単元を紹介しています。「表現」の題材は、変化と起伏のある動きが多く含まれる激しい感じの表現から取り上げ、単元の展開はおおよそ中学年と同様です。「フォークダンス」の単元では、外国のフォークダンスと日本の民踊から特徴や感じの異なる踊りを取り上げ、毎時間新しい踊りを身に付けてみんなで踊って交流する学習を繰り返すようにしています。

《中学校、高等学校の実践例（単元）》

中学校第1学年及び第2学年では、「創作ダンス」の「多様なテーマから即興的に表現しよう！」、「フォークダンス」の「伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊ろう」、「現代的なリズムのダンス」の「ロックやヒップホップのリズムに乗って－リズムを感じて自由に踊ろう－」の「三つのダンス」をそれぞれ単独で扱う三つの単元の例と、「三つのダンス」を1単元で学習する「三つのダンスの魅力をダイジェストに味わって踊ろう」の単元を紹介しています。特にダンス領域が必修となったこの2学年において、生徒の学習経験や状況に応じて各学校が柔軟に「三つのダンス」が学習できるような単元の内容と進め方を工夫しています。

中学校第3学年及び高等学校入学年次では、中学校第3学年の例「三つのダンスから好きなダンスを選んで自主的に取り組もう」と高等学校入学年次の例「選んだダンスの学習を深め、発表・交流しよう」の二つの単元を紹介しています。いずれも「三つのダンス」から選択して学習を進める単元を段階的に工夫しています。

高等学校入学年次の次の年次以降では、「好きなダンスを選んで仲間と共に主体的に活動し、生涯にわたってのダンスとのかかわり方や楽しみ方を探求しよう！」の単元を紹介し、小学校から高等学校までの「表現運動系及びダンス」の学習の総まとめとして、生涯にわたるダンスとのかかわりにつなぐような生徒の主体的な選択の学習の具体的な進め方を提案しています。ダンスにおける選択して取り組む授業の事例として注目されます。

2. 実践例（単元）の読み方

実践編の事例として取り上げた単元は、小学校から高等学校まで共通に以下の項目から構成されています。最初の「授業の基本的な構想」から最後の「参考資料」に至るまで、本時案を含めた単元計画を中心に、何をどのように進めるかについて具体的な指導と評価の進め方を示しています。また、全て見開き構成で見やすくするとともに、教師の言葉がけや活動の仕方などをイラストや写真も含めてわかりやすくしています。

特に、単元の具体的な展開（4 指導と評価の計画）について、単元の時間の流れと1時間の学習の流れをわかりやすくし、一目で把握できるように工夫し、単元計画の新たな例として提案しています。

《実践例（単元）の項目と主な内容》

単元名

単元で取り上げる内容と本単元のねらいを児童生徒にもわかりやすい言葉にして単元名としています。

1 授業の基本的な構想

「(1) 授業のねらい」では、単元で取り上げる内容（表現系ダンス、リズム系ダンス、フォークダンスのいずれか）の特性、本単元の位置づけとねらい、主な内容とその取り上げ方などについて示しています。小学校では、《どんな題材（リズムや踊り）を・どんな動きで》を示し、より具体的な内容を押さえています。

次の「(2) 授業づくりの考え方」では、単元の構成や進め方について、上記のねらいをどのような学習過程で進めるかの要点を文章で説明するとともに、その下に単元の展開の概要をわかりやすく図示しています。この展開図が、後の「4 指導と評価の計画（例）」の内容に対応しています。

この最初の1ページで単元の基本的な構想と全体像がつかめるようにしています。

2 単元の目標

前ページの単元の基本的な構想に従って、単元の目標を（1）技能、（2）態度、（3）知識、思考・判断（小学校は思考・判断）の観点から文章化しています。

3 単元の評価規準

単元の目標を受けて、評価の三つの観点ごとに、「単元の評価規準」と本単元の「学習活動に即した評価規準」の二つの規準から評価の内容を具体化し、指導と評価が一体となるようにしています。なお、2年間の単元における評価の違いを表中の（ ）に示しています。

4 指導と評価の計画（例）

見開きで構成する「指導と評価の計画（例）」は、各単元の1ページ目の下に図示した「単元の展開の概要」を更に詳細に示したものです。横に単元の時間に対応した学習の段階（ねらい）と毎時間に取り上げる小テーマを示し、縦に一単位時間の学習の流れを示し、その下に単元の展開に対応して重視する評価の観点を示しています。本指導資料では、単元の計画をこのような見開きの表で構造的に示す工夫をしています。

5 本時の目標と展開

ここでは、単元の中で中核的な内容を取り上げて扱う1時間（2時間）の計画、すなわち本時の展開を示しています。本時の目標を、（1）技能、（2）態度、（3）知識、思考・判断の三つの観点から押さえ、展開では、本時で取り上げる内容を「主なねらい・学習活動」と「教師の働きかけ・評価」から本時の流れに沿って具体的に示しています。本時の内容をどのように具体化し、いつ、どんな場面で、どのような活動を組んで、指導と評価を行うかの参考にしてください。特に、本時のねらいや内容の提示に始まり、教師がリードして進める活動から、児童生徒が工夫する活動へとつなげる学習の流れを工夫しています。

《参考資料》

このページは、本単元の指導と評価を進めていく上で参考にしてほしい様々な資料を紹介しています。その内容は、学習カード、掲示用学習資料、動きの例、音楽など、単元で取り上げる内容に応じて多彩になっており、実際に授業に役立つ資料として大いに活用してください。

どうぶつランドでへんしん!

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

この単元は、低学年の表現リズム遊びにおける「はじめの段階」を想定した単元です。低学年の表現リズム遊びは、「リズム遊び」と「表現遊び」で構成され、「リズム遊び」では軽快なリズムに乗って踊ったり、「表現遊び」では身近な題材の特徴をとらえて、そのものになりきって表現したりすることを楽しむことができますようにします。本事例では、なりきりやすく律動的な動きを好み、この時期の児童の発達の特性を踏まえ、1時間の中に「リズム遊び」と「表現遊び」の両方を組み合わせて単元を構成しています。

「リズム遊び」では、スキップで弾んで踊れるようなロックやサンバなどの軽快なリズムの曲を取り上げ、リズムに乗って全身で弾んで踊って楽しめるようにします。

「表現遊び」では、身近で関心が高く特徴のある具体的な動きを多く含む「動物」を取り上げました。「サルが〇〇しているところ」のように動物の具体的な動きでとらえ、全身の動きに高低の差や速さの変化をつけて即興的に踊ったり、急変する場面を入れて簡単なお話で続けて踊ったりして楽しめるようにします。

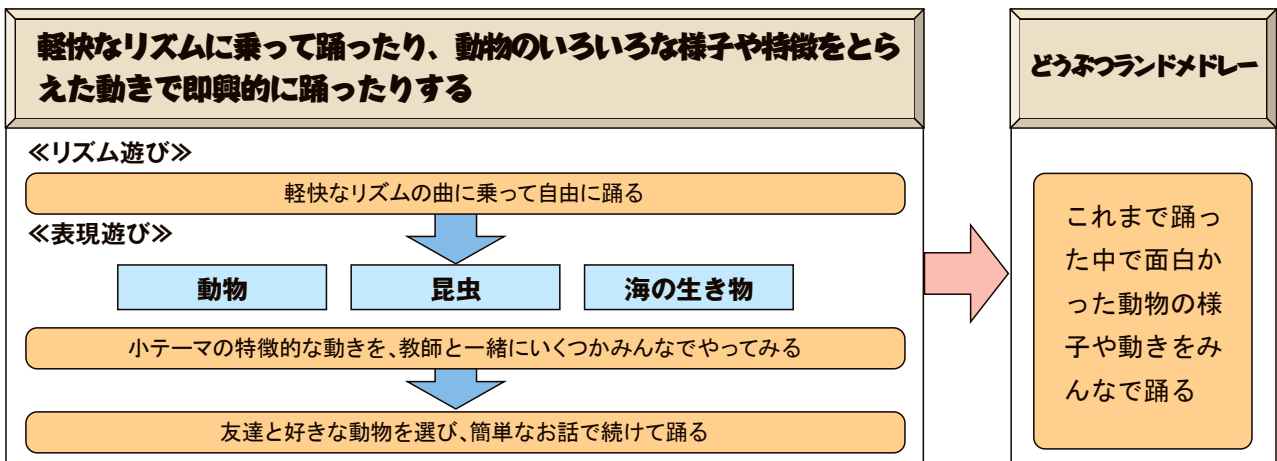
《どんな題材を・どんな動きで》

リズム遊び (簡単なフォークダンスを含む) ・軽快なリズムの曲に乗って 弾んだり、回ったり、ねじったり等。全身で弾んでリズムに乗って	表現遊び「どうぶつランドでへんしん!」のイメージと動き		
	動物 ・サルが木登りしている ・ヘビがよろよろ ・ワシがえものをねらう 等 律動的に、ダイナミックに等。変化をつけて	昆虫 ・チョウがみつをすう ・敵と戦うカマキリ ・えさを探すアリ 等 硬い動き、柔らかい動き等。変化をつけて	海の生き物 ・トビウオが海の上を飛ぶ ・クラゲがぶかぶか漂う ・タコが怒ってすみをはく 等 漂う、泳ぐ、奇妙な動き等。変化をつけて

(2) 授業づくりの考え方

単元を通して毎時間「表現遊び」と「リズム遊び」の両方を組み合わせて行います。毎時間の前半では、リズムに乗って楽しく体を動かすリズム遊びの時間を15分程度とり、児童にとって親しみのあるロックやサンバなどの軽快なリズムの曲を複数取り上げ、先生や友達のまねをしたり、新しい動きを見付けたりして踊って楽しめます。毎時間の後半では、「動物」「昆虫」「海の生き物」の小テーマごとにイメージをひろげて、特徴的な動きをみんなできつかやってみたり、友達と好きな動物を選んで、簡単なお話で続けて踊ったりして楽しめるようにしています。単元の最後には面白かった動物の様子や動きを出し合い、みんなで一緒にメドレーにして踊って締めくくります。

《どのように学習を進めるのか》



2 単元目標

- (1) ロックやサンバの軽快なリズムに乗って踊ったり、いろいろな動物の特徴を捉えて全身で踊ったりすることができるようにする。 (技能)
- (2) 「どうぶつランド」の表現リズム遊びに進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたることができるようにする。 (態度)
- (3) 「どうぶつランド」の表現リズム遊びの行い方を知り、楽しく踊るための動きや、友達のよい動きを見付けることができるようにする。 (思考・判断)

3 単元の評価規準 () は第2学年

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●「どうぶつランド」の表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ●きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。 ●運動する場の安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表現遊びやリズム遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。 ●動物やロック、サンバなどのリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表現遊びでは、いろいろな動物の特徴を捉え全身で踊ることができる。 ●リズム遊びでは、ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って踊ることができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って踊ったり、いろいろな動物になりきって踊ったりすることに進んで取り組もうとしている。 ②学習のきまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。 ③友達とぶつからないように安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバなどのリズムに合った動きを(いろいろ)見付けたり選んだりしている。 ②動物の特徴や様子をとらえた具体的な動きをいろいろ見付けたり選んだりしている。 ③友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って弾んで自由に踊(ったり、友達と調子を合わせて踊(ったり)することができる。 ②動物の特徴をとらえ、全身の動きに高・低の差や速さの変化をつけたり、急変する場面を入れたりして簡単なお話にして(続けて)踊ることができる。





いろいろな動物に変身して出発



からだ全部を使ってなりきって踊る

4 指導と評価の計画（例）

どうぶつランドでへんしん！（表現リズム遊び）

学習の段階		軽快なリズムに乗って踊ったり、動物のいろいろな様子や特徴を				
毎時間の小テーマ		動物		昆虫		
時数		1～5				
第一学年	一時間の学習の流れ	0	<p>リズム遊び</p> <p>1 軽快なリズムの曲に乗って自由に踊る。</p> <p>○教師のリードで、友達と動きを真似し合って、友達と動きを続けて、友達と気に入った動きを ○児童にとって身近で親しみやすい軽快なリズムの曲(2～3分)を複数用意する。</p>			
	10	<p>表現遊び</p> <p>2 小テーマの特徴的な動きを、先生と一緒にいくつかみんなで作ってみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・サルが木に登りしているよ→木の上でつるっとすべった ・ヘビがによろによろ→あっ、敵が来た！ ・ワシが空を飛んでいる→えさ発見 急降下！ 等 </div> <div style="width: 30%;"> <p>○前時に取り上げた動物の中から、教師の言葉かけで2～3人組の友達と一緒に即興的に踊る。</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・チョウチョが花の蜜を吸いに行った→あっちの花もおいしそう ・アリさんの行進→えっさえっさ、えさが重いよ ・カマキリがかまをふる→わあ、けんかが始まった など </div> </div> <p style="text-align: center;">律動的に、ダイナミックに等、変化をつけて。</p> <p style="text-align: right;">硬い動き、柔らかい動き等。変化をつけて。</p> <p>○特徴の異なる動物を取り上げ、教師のリードで急変する場面を入れながら即興的に踊る。</p> <p>★飛ぶ、這う、回るなど、いろいろな動きを経験できるようにする。 ★急変する出来事は、それぞれの生き物の特徴に合わせて、動きに変化がうまれるような内容にする。</p>				
	20	<p>3 友達と好きな動物を選び、簡単なお話で続けて踊る。</p> <p>○2～3人組の友達と取り上げた動物の中から好きな動物を選んで、急変する場面を入れながら続けて踊る。</p>				
	45	<p>4 見せ合ったり踊ったりして学習のまとめをする</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">親鳥がひな鳥にえさをあげている</p> <p style="text-align: right;">カマキリ同士のたたかい</p>				
評価の観点	運動への関心・意欲・態度	② ③ (観察)(観察)	① (観察)			
	運動についての思考・判断			①② (観察・学習カード)		
	運動の技能				① (観察)	

第1学年（6時間）

とらえた動きで即興的に踊ったりする	どうぶつランドメドレー
海の生き物	
6	

（ジェンカやタタロチカのような軽快なフォークダンスを含む）

つないで など、いろいろな活動の仕方で踊って楽しむ。

2 これまで踊った中で面白かった様子や動きをみんなで一緒に踊る。

- ・ トビウオが海の上をとんでいく→強い波がきた
- ・ 岩の間でカニが遊ぶ→大きな魚が近づいてきた
- ・ タコがぐにゃぐにゃ→おこっですみをはきだした！

漂う、泳ぐ、奇妙な動き等。変化をつけて。

○これまでに取り組んだ動物で楽しかったものをあげる。

★いろいろな特徴があらわれるような動物を選ぶようにする。

○全員でそれぞれの動物の動きを続けて踊る。

★動きのよかった児童を紹介し、動きを共有できるようにする。

教師のリードで即興的に踊る。

空とぶオオワシ



顔までタコになって



泳ぐタコ

ボールで遊ぶ
オットセイ



くねくねのタコ

3 学習のまとめをする。

③ （観察・学習カード）	
	② （観察）




5 本時の目標と展開

【第1学年表現リズム遊び「どうぶつランドでへんしん！ ー海の生き物ー」 5/6時間】

(1) 本時の目標

- ロックやサンバの軽快なリズムに乗って踊ったり、いろいろな海の生き物の特徴をとらえて全身の動きで踊ったりすることができるようにする。 (技能)
- 学習のきまりを守りだれとでも仲よく踊ったり、友達とぶつからないように安全に気を付けたりすることができるようにする。 (態度)
- 友達のよい動きを見付けることができるようにする。 (思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、主として思考・判断を評価する。

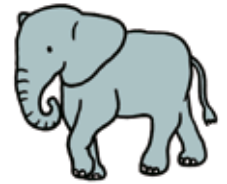
	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 15分	<p>1 今日の学習の流れを確かめる。</p> <p>リズム遊び</p> <p>2 軽快なリズムの曲に乗って自由に踊る。 ○友達の踊りを真似したり自分の踊りをつなげたりして続けて踊る。</p> 	<p>○本時の学習の進め方を簡単に伝える。 ○児童が乗りやすい、軽快で楽しい雰囲気曲を複数選ぶ。 ○動きがわからない児童には教師や友達と一緒に動きをするよう助言する。 ○2～3人組をつくり、その中でそれぞれの踊りを順番に続けて踊り、動きを共有できるようにする。</p>
なか 25分	<p>表現遊び</p> <p>3 いろいろな海の生き物の動きを先生と一緒にみんなで作ってみる。 ○海の生き物の動きを教師のリードで即興的に踊る。</p>  <p>トビウオが海の上を飛んでいく。あっ、大きな波が来た！</p> <p>クラゲがぶかぶか漂ってるよ。みんなで楽しくクラゲのダンス！</p>	<p>○児童から出された海の生き物は、具体的な動きと一緒に書いたカードにして掲示しておく。 ○様子の違う海の生き物を取り上げ、次々に変身させる。 ○急変する場面を入れ、海の生き物の動きを変化させて踊れるようにする。</p>
	<p>4 2～3人組の友達と好きな海の生き物を選び、簡単なお話で続けて踊ったり、動きを見せ合ったりする。</p>  <p>タコが泳いだり…。あっ怒ってすみをはき出した！</p>	<p>○特徴がよく表れている動きを称賛し、繰り返すよう助言する。</p> <p>☆友達のよい動きを見付けている 【運動についての思考・判断③】 (観察・学習カード)</p>
まとめ 5分	<p>5 本時の活動で、楽しかったことや、上手にできたと思うことを発表する。</p>	<p>○動きのよかった児童を紹介する。 ○次時への意欲を高めるように全身を使って動けたことや特徴がよく表れていたことなどを称賛する。</p>

《参考資料》 「どうぶつランドでへんしん！」

～動物でとらえさせたい特徴や動きの例～ どんな動物が何をしているところかな？

○大きく、強い動物

- ・ゾウ …… 力強く足ぶみする。大きな鼻を振って歩く。鼻で水を体にかける。 ……
- ・クマ …… のっしのっしと歩く。木に登ってはちみつを取る。 ……
- ・ライオン …… 堂々と歩く。えものを追いかける。 ……



○小さくすばしっこい動物

- ・ネズミ …… ちよるちよる動きまわる。前歯でチーズをかじる。 ……
- ・ウサギ …… 草むらをぴよんぴよんはねる。友達のうさぎと跳び回って遊ぶ。 ……
- ・サル …… すばやく木に登る。木の実を取ってかじる。 ……



○空を飛ぶ動物

- ・ワシ …… 大きく羽を広げて空を飛ぶ。えものを見つけて急降下する。 ……
- ・ツバメ …… 空でぐるりと回る。親鳥が巣にいる子どもにえさを届ける。 ……



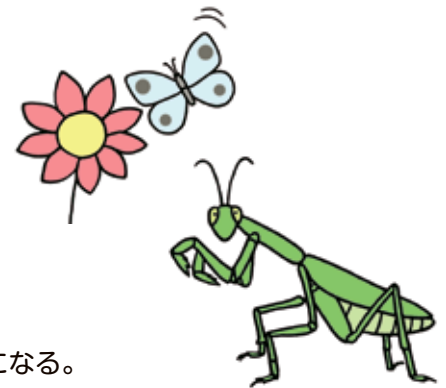
○地をはう動物

- ・ヘビ …… 体をくねくねして地をはう。くるくるととぐろを巻く。 ……
- ・ミミズ …… によるよると地をはう。地面にもぐる。 ……



～昆虫でとらえさせたい特徴や動きの例～

- ・バッタ …… 大きくジャンプする。 ……
- ・チョウチョ …… ひらひらと空を飛ぶ。花に止まって蜜を吸う。 ……
- ・カブトムシ …… 木に登って樹液を吸う。大きな角でけんかする。 ……
- ・クワガタ …… 角をがしゃがしゃさせてはさむ。 ……
- ・スズムシ …… 羽をこすり合わせてきれいな音を出す。 ……
- ・カマキリ …… 大きなかまを振り回す。
- ・ダンゴムシ …… ぐるりと体を丸める。
- ・ムカデ …… 体をくねらせながら進む。友達とつながって長いむかでになる。



～海の生き物ととらえさせたい特徴や動きの例～

- ・クジラ …… ゆったりと泳ぐ。頭から大きくしおを吹き上げる。 ……
- ・カイソウ …… 体全体でゆらゆらと揺れる。 ……
- ・トビウオ …… 海面を大きくジャンプする。 ……
- ・タコ …… 手足をくねくねばらばらに動かす。 ……
- ・クラゲ …… ふわふわと流れに乗って動く。 ……
- ・クマノミ …… 海藻やイソギンチャク、サンゴなどの間をすり抜けてあちこち泳ぎ回る。
- ・マグロ …… みんなでぐるぐる大きく回遊する。 ……
- ・イルカ …… 海面から大きくジャンプする。 ……



◎自己評価の例

	よくできた	できた	もうすこし
リズムにのってたのしくおどれた			
いろいろなものにへんしんしておどれた			
ともだちとなかよくたのしくうんどうできた			
じょうずなともだちを見つけられた			

第1学年及び第2学年 「表現リズム遊び」(やや進んだ段階)

ゆうえんちへいこう！

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

この単元は、低学年の表現リズム遊びにおける「やや進んだ段階」を想定した単元です。本事例も「はじめの段階」の単元と同様に、1時間の中に「リズム遊び」と「表現遊び」の両方を組み合わせて単元を構成しています。

「リズム遊び」では、スキップで弾んで踊れるようなロックやサンバなどの軽快なリズムの曲を取り上げ、リズムに乗って全身で弾んで踊って楽しめるようにします。「表現遊び」では、はじめの段階からやや進んで、具体的で変化のある動きをとらえやすい「ゆうえんち」を取り上げました。ゆうえんちの乗り物は、回ったり、後ろ向きに進んだり、急降下したりなど、特徴的な動きをとらえながら、スピードに変化をつけて楽しむことができる題材です。また、乗り物以外にもパレードやお化け屋敷などへとイメージを広げていくことができます。

《どんな題材を・どんな動きで》

<p>リズム遊び (簡単なフォークダンスを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽快なリズムの曲に乗って 友達とかかわりながら <p>弾んだり、回ったり、ねじったり等。リズムに乗って</p>	<p>表現遊び「ゆうえんちへいこう！」のイメージと動き</p>		
	<p>乗り物になって</p> <ul style="list-style-type: none"> 急降下するジェットコースター 速度が変わるメリーゴーランド ゴーカートで競走だ 等 <p>回る、上る、急降下等。スピードを変化させて</p>	<p>びっくりハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> 踊り出すがいこつ 恐怖のお化け屋敷 出口が見つからない 等 <p>揺れる、倒れる、飛び出す、奇怪な動き等急変する動き。</p>	<p>パレードが通る</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろなおもちゃの鼓笛隊 花火が次々に上がった 悪者をやっつけるヒーロー 等 <p>軽快な動きでユーモラスに。誇張とくり返し</p>

(2) 授業づくりの考え方

「はじめの段階」と同様に、単元を通して毎時間「表現遊び」と「リズム遊び」の両方を組み合わせて行います。毎時間の前半では、リズムに乗って楽しく体を動かすリズム遊びの時間を15分程度とり、児童にとって親しみのある軽快なリズムの曲を複数取り上げます。毎時間の後半には、「乗り物」「びっくりハウス」「パレード」の小テーマごとにイメージをひろげて、特徴的な動きをいくつかみんなでやってみたり、友達と好きな場面や様子を選び、体の使い方やリズムに変化を付けて、簡単なお話で続けて踊ったりして楽しめるようにすることが大切です。進んだ段階では、表現遊びにおいて児童自身が主体的に動きを見つけていく活動にウエイトをおいて楽しめるようにすることが重要です。

《どのように学習を進めるのか》

